

物質科学セミナー
2019年2月26日(月)午後4時00分～
3B213 プレゼンテーションルーム

B2B 企業とクリエイティブの出会い 部活から始めるイノベーション

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 松永有理

1990年代初頭まで日本の国際競争力は No1 として評価されていたものの、2017年には OECD 加盟国最低の 25 位にまでランクを落としています【1】。これは、世の中の付加価値の主体が製造業からサービスへと移行していることに由来しますが、日本における本質的な問題は製造業含めて日本のシステムがイノベーションを起こすことに適していないことにあると考えます。それは、製造業の効率化とコストダウン至上主義による強固な分業体制と組織分化・文化にあります。そこで、広報という機能を最大限使って組織横断的な取り組みの場を興し、効率化だけではない、新しい価値を生み出すプロセスを実験的につくっていかうという思いで、「素材の魅力ラボ～MOLp～」という活動をスタートさせています。今回、そうした活動から生まれたプロダクトや思考をご紹介します。

化学や素材は常に世の中の変化の交差点に存在する独特な業種です。あらゆる産業と関わりがあり、イノベーションの起点を遡ると、常に素材産業での革新が見られます。世の中の変化に敏感に、そしてイノベーションの場に自分たちが存在するためには、より広い視野とコミュニケーション能力が求められています。

参考文献

[1] IMD2018 年世界競争力ランキング

共催
プレ戦略イニシアティブ「光と物質・生命アンサンブル」
エネルギー物質科学研究センター
新学術領域「 π 造形科学」
TIA かけはし